

大山町総合計画

新しいまちづくりの指針が策定されました！

本年度から「大山町総合計画」による新しいまちづくりがスタートします。

この計画は今年1月から総合計画審議会で審議され、6月8日に審議会から答申を受け6月定例議会で承認されました。合併後初めての総合計画であり、21世紀を展望し、町民のみなさんと一緒にまちづくりを進めるための方策です。

総合計画の基本構想（平成18～27年度）のシンボル施策／事業として「大山恵みの里構想」をかかげています。本町には、豊かな自然、歴史文化、農や食、そして人・心など多くの宝があります。これらは大切な地域

基本理念

大山の恵みを受け継ぎ、元気な未来を拓く^{ひら}まちづくり

人と人、人と自然が心でつながるまち

将来像

心豊かな生活創造

自然と調和した
快適な生活空間を
実現するまちづくり

個が輝く教育文化

地域の特性を
活かし、共生する
教育文化のまちづくり

安心定住の実現

地域でつながり
支え合う
健康と福祉のまちづくり

産業・雇用の活性化

本町の特性を活かし
魅力ある産業を
展開するまちづくり

住民と行政の協働

一人ひとりが
大切にされ活かされる
協働のまちづくり

シンボル施策／事業

大山恵みの里構想

【自然の恵み】

- 豊かな自然を守る循環型システムの確立
- 豊かな自然と共生する体験交流事業の展開

【歴史・文化の恵み】

- 本町の歴史・文化の拠点づくりとネットワーク化
- 自然・歴史・文化を学び楽しめる環境づくり

【人・心の恵み】

- 特色ある学習環境による地域の人材づくり
- 心と体の健康づくりによる安心の暮らし環境の充実

【農と食の恵み】

- 営農体制の充実と地域資源を活かした食づくり
- 安心の食を提供する地産地消の仕組みづくり

【実現に向けた環境整備】

- 人・自然・文化・産業が循環し、交流する拠点空間の整備
- 交流の軸となる本町道路網の整備
- 大山恵みの里構想推進の体制づくり